

T-Walkers~繁華街におけるゲリラ観望会~

漆原 宏亮 (名古屋大学・T-Walkers)

浅野 侑子 (愛知淑徳大学・T-Walkers)

T-Walkers ~guerilla stargazing parties in busy quarters~

Kosuke Urushihara (Nagoya University・T-Walkers)

Yuko Asano (Aichi Shukutoku University・T-Walkers)

Abstract

The introduction for T-Walkers and report on stargazing parties collaborated with Starbucks Coffee is described.

1. T-Walkers の概要

T-Walkers は 2004 年に愛知県内の大学の天文サークルの有志で結成された学生団体で、今年で結成 10 年目を迎えました。現在は名古屋大学・愛知淑徳大学・愛知教育大学から集まった約 10 名の隊員で活動をしています。主な活動は、繁華街に突然現れて観望会を開くことで、我々はこれをゲリラ観望会と呼んでいます。

T-Walkers の活動の最終目標は、「光害をなくし、すべての人に天文を楽しんでもらう」ことです。そのために、我々は

- 観望会をゲリラ的に行う
- 光害の多い繁華街で観望会を行う

この 2 つをモットーにして活動をしています。

近年、多くの天文台や科学館が観望会を行っていますが、そのような観望会に足を運ぶのは既に天文に対して興味を抱いている方々が大半ではないでしょうか？私たちの目標は「すべての人に天文を楽しんでもらう」ことです。天文に全く興味がなかった人や、興味はあるけれど天文台まで足を運ぼうとは思わなかった人たちをターゲットとするために、事前の宣伝は最小限に止めて、突然繁華街に出現して通りすがりの人たちに「望遠鏡を覗いてみませんか」と声をかけるようにしています。

また、名古屋のような大都市ではかろうじて 2 等星が見えるくらいで、天文に興味がない人はそもそも夜空を眺めようとはしませんが、私たちがそのような方々に声をかけることで、多くの方が立ち止まって夜空を眺めてみたり、小型望遠鏡で月や惑星と一緒に見たりして頂けます。このような機会を通じて、天文は街中でも小さな望遠鏡でも楽しむことができる身近なものだということ、そしてもし光害が少なくなれば、星雲や星団など多種多様な天体を見ることができるということを認識してもらうために、先ほど述べた 2 つのモットーを大切に受け継いで活動を続けてきました。

私たちの活動で、天文にあまり興味がなかった人たちが天文台の観望会に参加したり、自分で星のことを調べてみたり、光害に対する問題意識を持ったりするといった「きっかけ」を作ることが T-Walkers の使命であると考えています。

2. 近年の活動

2011年8月から表1にありますように、ゲリラ観望会を11回行い、延べ1480名の方に望遠鏡を覗いて頂くことができました。その一方で、昨年はスタバコラボ企画というものを3回行い、こちらの方でも延べ1199名の方がお越しく下さいました。

この企画は、普段私たちが主戦場としている金山総合駅南口にあるスターバックスコーヒー金山駅南口店の店員さんが、T-Walkers が活動しているところ見かけて私たちの活動に興味を持って下さり、「同じ金山の地で活動をしているもの同士、地域に貢献できるような活動をしたい」ということから、「お店のテラスで無料の観望会をやってみませんか？」というお話を持ちかけて下さったことが始まりです。コラボ企画はお店のテラスを使わせて頂くこともあって、普段のゲリラ的な観望会とは異なり、お店側とのミーティングを重ね、事前告知を店頭やWeb上で行った上での観望会ではありましたが、普段のゲリラ観望会よりも多くの方に望遠鏡を覗いて頂き、金山で活動しているT-Walkersのことを知って頂ける良い機会ともなりました。

1回目のコラボ企画では、月と木星を導入して2日間で587名、2回目は金環日食の前ということもあり、昼間に太陽観望会を開いて2日間で377名、3回目は月とアルビレオを導入して1日で235名の方に望遠鏡を覗いて頂きました。ゲリラ観望会では1日で100名を超えればよい方なので、コラボ企画を行うことは私たちの活動にとってもプラスの効果がありました。

このような、お店を使わせて頂いての観望会を経験して私たちは様々なことを学びましたが、最後にそのうちのいくつかをご紹介します。

- ゲリラ観望会では対象天体がビルなどに隠れても、望遠鏡を移動させればよいのですが、お店での観望会ではそのような対応はできないため、望遠鏡を設置する予定のところから、対象天体が観望会の間ビルやお店の屋根などに隠されてしまわないかを事前に確認しておく必要があるということ。
- お店のお仕事とは別に、お客様の誘導をするお店のスタッフの方が必要になるので、事前にお店側にシフトの調整をしてもらう必要があるということ。
- 天体の導入係とお待ち頂いているお客様に解説を行う係で1台の望遠鏡に最低2人は必要だということ。
- 待ち時間に映像や資料などを用意しておく、暇つぶしにもなるし、お客様との話のネタにもなってよいということです。

今後とも、ゲリラ観望会が私たちの活動の根幹であることに変わりはありませんが、他の団体や企業とお互いの目的に合うようなコラボレーションを図ることによって、私たちとしては、より多くの方々に望遠鏡を覗く機会を提供していければよいと考えています。

表 1：過去 2 年間の活動記録

開催日	内容	場所	人数 (名)
2011 年 08 月 10 日	ゲリラ観望会	金山駅	60
09 月 12 日	ゲリラ観望会	金山駅	101
10 月 09 日	栗名月観望会	金山駅	104
11 月 23 日	第 2 回 KIP	南山高等学校	
12 月 04 日	ゲリラ観望会	金山駅	64
2012 年 01 月 5・6 日	スタバコラボ企画	スタバ金山駅南口店	587
04 月 7・8 日	スタバコラボ企画	スタバ金山駅南口店	377
07 月 07 日	七夕観望会	金山駅	114
09 月 26 日	スタバコラボ企画	スタバ金山駅南口店	235
10 月 27 日	栗名月観望会	金山駅	338
12 月 22 日	ゲリラ観望会	知立駅	92
2013 年 02 月 20 日	ゲリラ観望会	金山駅	130
05 月 21 日	ゲリラ観望会	金山駅	119
05 月 25 日	ゲリラ観望会	名古屋駅	191
07 月 07 日	七夕観望会	金山駅	167

質疑応答

- ◆ “ゲリラ”観望会という「予告なしに」という他に、「然るべきところに許可をとらずに」という意味も含んでいるように受け取られることもあるかと思いますが、そのような意味も含まれているのでしょうか？（水野孝雄さん）

⇒T-Walkers が「ゲリラ」という物騒な言葉を使うのには 2 つの願いが込められているからです。1 つは「予告をしないことでターゲットを絞らずに観望会をしたい」、もう 1 つは「光害を打破して全ての人が星空を楽しめる街へと革命を起こしたい」というものです。それ以外の意味は含まれていませんので、使用許可等が必要になる場合には事前に申請を行います。
- ◆ 他大学の学生と一緒に活動しているが、T-Walkers は学生だけの団体なのでしょうか？また、T-Walkers に入るためにはどうすればよいのでしょうか。（斉藤秀樹さん）

⇒今のところ T-Walkers には学生しか所属していませんが、特にメンバーが学生であることにこだわってはいないため、学生以外の方で加入したいという方がもしいらっしゃれば、大いに歓迎したいと思います。その際は T-Walkers の Twitter アカウントに DM を送る等してご連絡頂ければ対応致します。但し、活動の特性上、ある程度のフットワークの軽さと、望遠鏡等の扱いに関する基礎知識がある方でないとは思います。